平成 24 年 10 月 24 日

各　　位

東京都中央区日本橋 1 丁目 20 番 3 号
藍　澤　證　券　株　式　会　社
代 表 取 締 役 社 長　藍 澤　基 彌
(コード番号：8708)
問 合 せ 先　取 締 役　藍 澤　卓 弥
TEL　03-3272-3421
E-mail：ir@aizawa.co.jp

営業外費用および特別損失の発生ならびに平成 25 年３月期第２四半期連結業績見通しと平成 24 年３月期第２四半期連結業績との差異に関するお知らせ

平成 25 年３月期第２四半期（平成 24 年４月１日～平成 24 年９月 30 日）（以下、当四半期）において、営業外費用および特別損失を下記のとおり計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、当四半期の業績と平成 24 年３月期第２四半期（平成 23 年４月１日～平成 23 年９月 30 日）の業績に差異が生じましたのでお知らせいたします。

なお、平成 25 年３月期第２四半期の業績につきましては、10 月 26 日に開示の予定です。

記

１．営業外費用および特別損失の内訳

（１）営業外費用の内訳

営業外費用は投資事業組合運用損１億 70 百万円の計上等により１億 88 百万円となる見込みです。

（２）特別損失の内訳

特別損失は株価が著しく下落したことによる投資有価証券評価損３億 31 百万円の計上等により３億 32 百万円となる見込みです。

（参考）平成 25 年３月期第２四半期における投資有価証券評価損は以下のとおりです。　（単位：百万円）

平成 25 年３月期第２四半期連結累計期間　投資有価証券評価損の総額（A）	331
平成 25 年３月期第１四半期連結累計期間　投資有価証券評価損の総額（B）	109
平成 25 年３月期第２四半期連結会計期間　投資有価証券評価損の総額（A－B）	221

２．平成 25 年３月期第２四半期の業績見通し

（単位：百万円）

	営 業 収 益	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益
平成 25 年３月期 第２四半期(見通し)	4,235	△165	△142	△26
平成 24 年３月期 第２四半期(実績値)	4,348	△683	△405	1
増　減　額	△112	517	262	△28
増　減　率	△2.6%	－	－	－

（注）1. 金融商品取引業の業績は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、通常の業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。そのような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与える恐れがあるため、当社は通常の業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期および通期の業績見通しを、決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示いたします。
2. 上記の業績見通しにつきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は当該数値と異なる可能性があります。

３．連結業績見通しの説明

平成 25 年３月期第２四半期の主な収益・費用の見込みは以下のとおりです。

(受入手数料)

株式市場が軟調に推移したことから、受入手数料は 22 億 89 百万円(前年同期比 73.7%)となる見込みです。

(トレーディング損益)

トレーディング損益は外国債券および外国株式の取扱いの増加により 17 億 56 百万円(同 193.2%)となる見込みです。

(金融収支)

金融収益は信用取引貸付金の減少等により２億１百万円(同 82.9%)、金融費用は信用取引借入金の減少等により 47 百万円(同 67.3%) となる見込みです。これにより、金融収支は１億 54 百万円(同 89.3%)となる見込みです。

(販売費・一般管理費)

販売費・一般管理費は前連結会計年度における固定資産の減損に伴う減価償却費の減少等により、43 億 54 百万円(同 87.8%)となる見込みです。

(営業外損益)

営業外収益は受取配当金１億 52 百万円等により２億 11 百万円となる見込みです。営業外費用は投資事業組合運用損１億 70 百万円等により１億 88 百万円となる見込みです。これにより、営業外損益は 23 百万円の利益となる見込みです。

(特別損益)

特別利益は投資有価証券売却益２億 33 百万円、デリバティブ決済益２億 15 百万円等により４億 64 百万円となる見込みです。 特別損失は投資有価証券評価損３億 31 百万円等により３億 32 百万円となる見込みです。 これにより、特別損益は１億 32 百万円の利益となる見込みです。

特別利益の詳細につきましては、８月 29 日開示の「特別利益の発生に関するお知らせ」をご覧ください。

以　上